

2月定例教育委員会

資料報告

○資料報告一覧

- 令和4年1月臨時県議会の概要について（各課共通）
- 高校生の活躍について（高校教育課）
- 第36期第3回長崎県社会教育委員の会議結果について（生涯学習課）
- 第77回国民体育大会冬季大会について（体育保健課）
- 令和3年度第2回長崎県立長崎図書館協議会の会議結果について（長崎図書館）

台商臺灣博通電子

已辦事項

第一台辦事項

- (資本增資) 37年2月25日經股東大會決議增加資本...
- (轉讓) 37年2月25日經股東大會決議將本公司...
- (轉讓) 37年2月25日經股東大會決議將本公司...
- (轉讓) 37年2月25日經股東大會決議將本公司...
- (轉讓) 37年2月25日經股東大會決議將本公司...

件名	令和4年1月臨時県議会の概要について
概要	<p>1. 日程</p> <p>〔 会 期 令和4年1月24日～令和4年1月25日 分科会 令和4年1月24日 〕</p> <p>2. 議案</p> <p>原案のとおり可決</p> <ul style="list-style-type: none">・第1号議案（予算議案） 令和3年度長崎県一般会計補正予算（第19号）のうち関係部分 <p>3. 文教厚生分科会における質疑事項</p> <ul style="list-style-type: none">・県立高等学校の空調未設置普通教室への空調設備整備について・県立学校におけるICT教育支援センターの設置について

令和4年1月臨時県議会の概要について

概 要	「予算決算委員会 文教厚生分科会」での教育委員会関係の主な概要
	<p>【議案】</p> <p>□ 第1号議案 令和3年度長崎県一般会計補正予算(第19号)のうち関係部分</p> <p>● 県立高等学校の空調未設置普通教室への空調設備整備について (山田朋子委員) 県立高等学校の空調設置について、電気代等は保護者負担があると聞いているが、今後の経費負担の在り方についてお尋ねしたい。</p> <p>(教育環境整備課長) 県立高等学校56校中47校については、PTAによる設置であり、保護者負担となっている。まずは、設置のない9校等について、令和4年度末までを工期として、空調を設置し、電気代等の負担については、不均衡が生じないような手法を今後検討していきたい。</p> <p>(中村泰輔委員) 県立高等学校の空調設置のための予算を計上するに至った背景をお尋ねしたい。</p> <p>(教育環境整備課長) これまでも空調設置については、重要な課題あると認識していたところであるが、財源的に厳しい状況であった。今回、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が活用できることから、整備に必要な予算を計上したところである。</p> <p>(中村泰輔委員) 今回設置することで、県立高等学校の空調設置率が100%になるのかどうか伺いたい。</p> <p>(教育環境整備課長) 県立高等学校56校の普通教室については、100%の設置となる。</p> <p>(中村泰輔委員) 今後の費用負担の方針についてどのように考えているのか。</p> <p>(教育環境整備課長) 今回計上している予算により、令和4年度末までを工期として、空調を設置することとしており、令和5年度からの電気代等の負担についても、公費で考えている。これまでPTAで空調を設置した47校についても、電気代等の負担の在り方については、今回整備</p>

する9校等と不均衡が生じないような手法を検討したい。

(中村泰輔委員)

既にPTAにより空調が整備された学校の電気代等の負担の在り方については、今後検討するとのことであるが、現状、保護者負担であると捉えてよいか。

(教育環境整備課長)

現状は、PTA負担となっているが、今回整備する学校と不均衡が生じないような支援策、手法を今後検討していく。

(山下博史委員)

高等学校の空調の設置について、今回計上された予算で整備する学校は、工事費、電気代等を公費で負担するとのことである。これまでPTAで設置された学校については、平等性を勘案して、支援策を今後検討するとのことであるが、何らかの負担が発生する危惧がある。PTAで設置された学校についても不均衡が生じないよう同様に保護者の負担を無くすべきと考えるが、どのように考えているのか。

(教育長)

今回計上している予算で工事を行うものについては、令和5年度からの稼働を予定しており、電気代についても令和5年度から公費負担で考えている。これまでPTA負担により設置されてきた学校との不均衡が生じることのないよう、引き続き、今後の予算措置を含め、どのような手法が考えられるか十分に検討していきたい。

(徳永達也委員)

高校は小中学校とは違い、国からの財源措置がないことから、公費による設置がなかったとの認識であるが、空調設置の考え方をお尋ねしたい。

(教育長)

小中学校については、国が一定の財源措置を行うことで、設置が進められ、本県においても、ほぼ100%の設置率となっている。一方、高校については、室温についての学校環境衛生基準は示されながら、国による財政措置もなく、各県の判断による設置となっている。本県においては、PTAによる設置が行われてきたところであるが、小中学校への設置が進む中で、高校についても公費による未設置校への設置を進めている状況である。

●県立学校におけるICT教育支援センターの設置について

(千住良治委員)

「運営支援センターの設置」とあるが、具体的な説明をお願いしたい。

(ICT教育推進室長)

運営支援センターの具体的な業務は、まずはヘルプデスクで、教員からの問合せに対してセンターのほうで電話やメールで相談を受け付けて、サポートを行う。2つ目に、端末障害への対応ということで、遠隔では対応できない端末の障害等について、作業員を派遣したり、またはセンターに機器を引き取って修理をして返したりする。3つ目に、ICT支援人材育成のための研修サポートということで、教員のスキルアップを図るために、学校にスタッフを派遣して学校で研修を行う、この3つのメニューを考えている。

(千住良治委員)

市町との連携はどうなっているか。

(ICT教育推進室長)

この事業については、もともと国の経済対策において、この運営支援センターを緊急整備するというので、市町と県が連携をして設置するということが当初のプランとしてあった。当初は連携する場合に国からの補助率が1/2ということであったが、その後、県と市町が連携をする場合に、導入している機器や活用の仕方が違いから連携して十分なサポートをするのは難しいということで、県単独の事業においても1/2の補助がされるということになった。市町にも希望調査を行っているところであるが、県と連携して支援センターを設置するという希望はあがらなかったということで、県単独の事業を考えている。

(千住良治委員)

人材育成のスキルアップの連携でも希望はなかったということか。

(ICT教育推進室長)

そのような業務も含めて希望調査を取ったところである。人材育成については、例えば県が作っている資料を市町にも提供するとか、またはサイトの中で色々な事例を紹介するというかたちで連携が図れると考えている。

(中村泰輔委員)

運営支援センターは大村に設置されるのか。

(ICT教育推進室長)

この事業については業者に委託して、業者のほうでセンターを立ち上げるという形になる。

(中村泰輔委員)

これは外注ということで、県の先生方がそこに入るということはあるのか。

(ICT教育推進室長)

県立学校の教員が入るということはない。

(中村泰輔委員)

センターを設置するに至った背景で、県立学校の先生方から意見があったのか、必要性をどのように考えて設置に至ったのか。

(ICT教育推進室長)

今年度1人1台端末を導入したところだが、今年度は業者委託でサポート窓口を設置していた。ただ今回端末が入って、初めての年度末・年度初めを迎えるということで、当然生徒や教員の入れ替わりもあり、パソコンの再設定等もあるので、そういうあたりで来年度の特に当初については色々な業務が集中するということで、今後活用を更に進めていくという意味でも、このようなサポートの形が必要ということで、計画をしている。

<p>件 名</p>	<p>高校生の活躍について</p>
<p>概 要</p>	<p>1 大会名 第65回日本学生科学賞 (主催：読売新聞社)</p> <p>2 開催日 令和3年12月18日(土)・19日(日)</p> <p>3 開催場所 オンライン開催</p> <p>4 出場者 長崎北陽台高等学校 2年 宮崎 諒太 (ミヤザキ リョウタ) 2年 岩永 蒼士 (イワナガ ソウシ) 3年 若杉 日向 (ワカスギ ヒナタ) 3年 佐渡 海輝 (サワタリ ミズキ) 3年 岡本 壮汰 (オカモト ソウタ) 3年 河邊 周 (カワベ イタル)</p> <p>5 研究テーマ 「マツバクラゲの群体性ポリプの発見とその生活環について」</p> <p>6 成 績 文部科学大臣賞 (全国2位相当)</p> <p>7 大会の概要等</p> <p>○1957年に始まった日本学生科学賞は、中学生、高校生を対象にした歴史と伝統のある科学コンクール。身の回りの小さな疑問や不思議の解明、教科書に書かれている学説に対する疑問の解決などについて、個人、もしくは生徒が共同で行った作品を募集している。</p> <p>○全国から中学・高校あわせて7万1千件の研究作品の応募があり、地方審査、中央予備審査を経て中学・高校の各20件が中央最終審査に出場した。</p> <p>○小型の巻き貝・アラムシロの表面に群生したヒドロ虫を解析し、これまでにアラムシロへの着生例が報告されていないマツバクラゲのポリプ(クラゲになる前の体)であることを確認した。不明な点が多いマツバクラゲの生活史に、新たな発見をもたらした。</p>

件 名	第 3 6 期 第 3 回 長 崎 県 社 会 教 育 委 員 の 会 議 結 果 に つ い て
概 要	<p>1. 開催日 令和 4 年 2 月 9 日 (水)</p> <p>2. 出席者 社会教育委員 14 名 (欠席 2 名) 生涯学習課 8 名 関係課 10 名 (地域づくり推進課・県民生活環境課・長寿社会課・ こども未来課・若者定着課・都市政策課・義務教育課・ 高校教育課・特別支援教育課)</p> <p>3. 協議事項 (1) 令和 4 年度社会教育関係補助金について (2) 第 3 6 期における意見の取りまとめについて (3) 関係各課事業について</p> <p>4. 協議内容 (概要) (1) 令和 4 年度社会教育関係補助金について ○ 婦人会活動活性化事業補助金 ○ 公民館大会運営補助金</p> <p>(2) 第 3 6 期における意見の取りまとめについて ○ 社会教育の現状及びコロナ禍で表面化した課題等 ・ ICT 化が一定進んだが、子供とのふれあいが減少 ・ 社会教育関係団体会員数の減少がコロナ禍でより加速化 ・ 公民館における Wi-Fi 環境整備等 ICT 化の遅れ ○ 第 3 7 期に向けて ・ 地域づくりへの若年層の参画推進 ・ 社会教育の ICT 化促進及び対面とのベストミックスの研究 ・ 学校と地域の連携・協働の更なる推進と新たな手法の研究</p> <p>(3) 関係各課事業について ・ 関係課から、今年度事業及び来年度に向けた事業の概要説明</p>

<p>件 名</p>	<p>第77回国民体育大会冬季大会について</p>
<p>概 要</p>	<p>1. アイスホッケー競技会</p> <p>○期 日 アイスホッケー競技 令和4年1月26日(水)～30日(日)</p> <p>○会 場 栃木県日光市 (日光霧降アイスアリーナ、日光細尾ドームリンク、 今市青少年スポーツセンター屋内スケートリンク)</p> <p>○県選手団 監督 1名 選手 16名</p> <p>※ 選手に体調不良者が出たため、大会実行委員会「競技会における参加条件」に基づき棄権。</p> <p>2. スキー競技会</p> <p>○期 日 スキー競技 ジャイアントスラローム 令和4年2月18日(金)～20日(日)</p> <p>○会 場 秋田県鹿角市 (花輪スキー場)</p> <p>○県選手団 監督 1名 選手 2名</p>

件 名	令和3年度第2回長崎県立長崎図書館協議会の会議結果について
概 要	<p>1 開催日 令和4年2月7日(月)</p> <p>2 場 所 長崎県立長崎図書館(ミライオン図書館)</p> <p>3 出席者 長崎県立長崎図書館協議会委員9名(欠席1名) 館長、副館長、各課長等 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、WEB会議システムを併用して開催。</p> <p>4 会次第 (1) 開会 (2) 協議等 ・令和3年度主要事業実施状況について ・令和4年度事業計画(案)について ・その他</p> <p>5 概 要 ○令和3年度の事業報告(令和4年2月7日現在) ○令和4年度の事業計画(案)についての説明 <主な意見> ・電子書籍の導入に係る図書館の今後の対応等に関する質問や令和4年3月27日に開館予定の郷土資料センターのサービスに期待する意見があり、事務局から説明を行った。</p> <p>6 今後の予定等 ○令和4年8月に令和4年度第1回協議会を開催予定</p> <p>※参考 図書館協議会(根拠法令:図書館法第14条) 図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関</p>

丁卯年三月廿五日...

第 10 頁

(一) 日...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...